

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

沖縄県 糸満市

自治体名： 沖縄県糸満市

担当課名： 教育部 学校教育課

電話番号： 098-840-8165

1.自治体の基本情報

基本情報

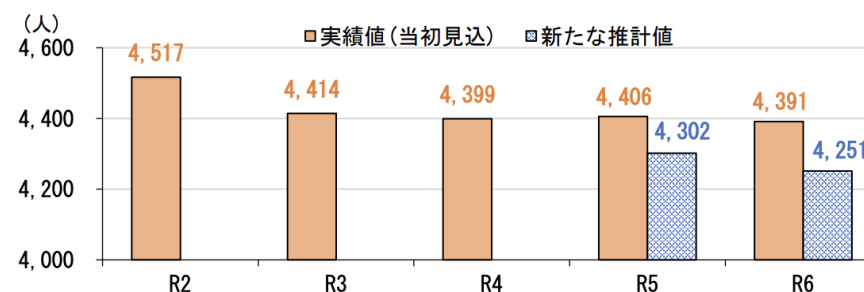
面積	46.40 km ² ※R3.10.1現在
人口	62,234 人 ※R6.12月現在
公立中学校数	7 校 ※内1校は分校
公立中学校生徒数	2,132 人 ※R6.5.1時点
部活動数	63 部活 ※内、運動部活動は56部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

糸満市は、市内に7つの中学校があり、全校生徒数は2,132名で運動部活動加入率は全体で74%である。本市では、運動部活動において顧問教員に競技経験がないことや部活動が教員の長時間労働につながっている等の課題があり、学校の働き方改革が進むなかで、これらの課題解決・軽減を図るために令和6年度に6校に対して18名の部活動指導員を配置している。

地域連携の取り組みを進めている一方では、指導できる種目とその指導者の確保や少子化に伴う学校単位での持続的な部活動の実施が今後困難になってくるであろう課題に直面してい

るのが現状である。子どもたちのスポーツ環境を持続的に且つ多様な体験機会を含めた一体的な環境整備を構築するために、学校部活動から地域クラブ活動への展開を進めていき、地域の実情等の把握を行うとともに、指導者確保をはじめ、指導者の質の担保や生徒のニーズ把握と地域資源を活用した体制整備を検討していく必要がある。



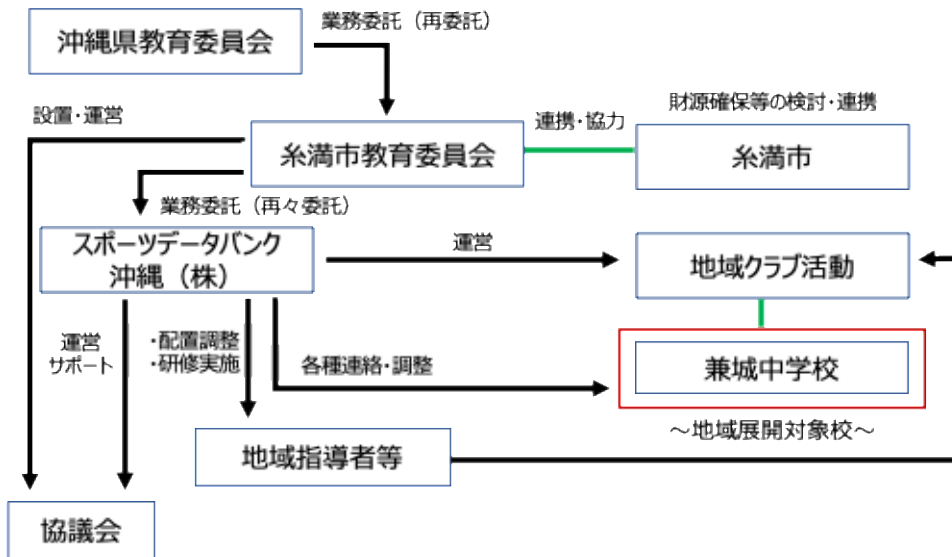
▲ 第2期糸満市子ども・子育て支援事業計画（中間見直し）より

※令和2年4月1日～令和4年4月1日までの実績人口を基に児童人口を推計。今後、中学生年代にあがっていく児童の減少が始まっている

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・本事業の主管課・方針の決定
- ・学校への通達及び調整
- ・協議会の設置、委員選定

◎首長部局

- ・教育委員会との連携
- ・財源確保に関する検討、連携
- ・学校体育施設の有効活用に関する検討、連携

年間の事業スケジュール

令和6年05月	・契約締結 ・庁内関係部署との打ち合わせ
令和6年06月	・対象地域クラブの学校調整 ・対象地域クラブの決定
令和6年07月	
令和6年08月	・指導者の選定
令和6年09月	・指導者研修 ・保護者説明会
令和6年10月	・ <u>実証スタート（野球）</u>
令和6年11月	
令和6年12月	・実態調査アンケート
令和7年01月	・実証後ヒアリング
令和7年02月	・事業完了報告

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（野球）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		－
全体の指導者数	4 人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会 参加方法
糸満市 地域クラブ	民間 事業者	野球 （新）	月3回程度	主に 午前中	2年生 1年生 （15名）	令和6年10月 ～令和7年1月	学校 グラウンド	4人 ※指導実績 3名	3人 （内、兼務×3人）	なし	【中体連】 部活動 【その他】 地域クラブ

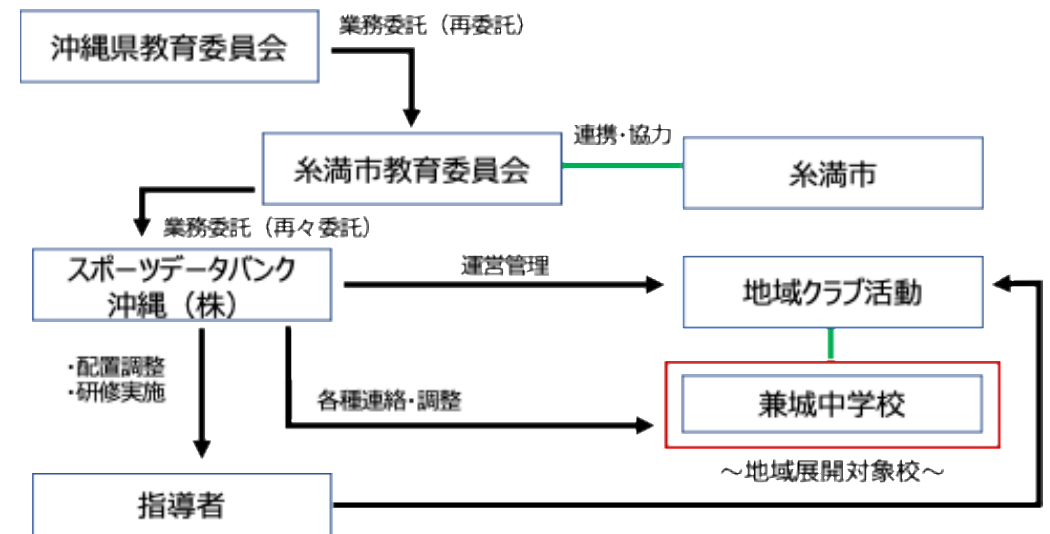
2.実証内容と成果

主な取組例

●糸満市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球
運営団体名	スポーツデータバンク沖縄株式会社
期間と日数	野球：10月12日～1月19日 (実施期間中：月3回程度)
指導者の主な属性	地域の指導者（外部指導者）
活動場所	学校体育施設（グラウンド）
主な移動手段	徒歩、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	野球：0円（徴収なし）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

[運営スタッフ]

➤ 統括責任者

役割：運営管理の総括的な監督を担う

➤ マネージャー・コーディネーター

役割：運営管理・進捗確認を行う（指導者調整・説明会等の実施含む）

[指導者]

役割：研修を踏まえ、適切な地域クラブ活動の運営・活動実施を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

スポーツ団体所属、地域指導者（個人）に関わらず、本市では指導者研修に事故防止やハラスメント等に係る研修内容を取り入れることで、指導者の資質向上に取り組む。本実証の結果を踏まえ、指導者の質の向上のための研修実施やライセンス取得と推進に取り組むことを検討するとともに、今後持続可能な活動にするため、地域全体の指導者に対し研修会等の開催や参加を目指していく。

取組の成果

本市が地域クラブ活動の指導者として配置する指導者には、種目に関わらず指導者に共通して必要とされる資質の向上を図ることを目的としたe-Learning研修を提供し受講を必須とした。パソコンやスマートフォン、タブレットから受講できることや繰り返し受講が可能な今回のe-Learning研修は、指導者に合った時間で受講することができた。アバターによる解説付きのナレーションで受講できるため、年代が高い方でも負担なく学習することができ、質の保障に結びつく研修の一つとして位置付けられた。

指導者属性

[指導者A]

- ✓ 70代 男性
- ✓ 部活動指導員資格あり

[指導者B]

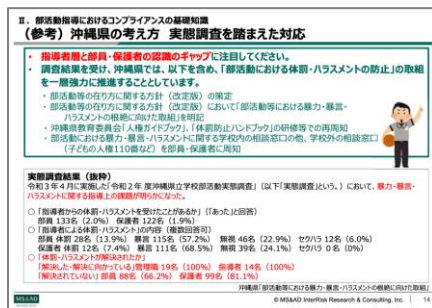
- ✓ 50代 男性
- ✓ 少年野球コーチ20年以上

[指導者C]

- ✓ 50代 男性
- ✓ 少年野球コーチ

[指導者D]

- ✓ 40代 男性
- ✓ 少年野球コーチ



▲ e-Learningイメージ画像

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

1. 自然災害への対応	- 自然災害の基礎知識（特徴、過去の被害 など） - 風水害対策について（指導中止・中断の判断 など）
2. 救急蘇生法 一次救命処置と熱中症	- 一次救命処置（救命の可能性と時間経過 など） - 熱中症（熱中症の重症度と症状・治療 など）
3. 部活動における防犯	- 少年法と犯罪発生状況（少年法に関する知識 など） - 防犯から見た体罰（体罰の定義など）
4. コンプライアンスの重要性和 ハラスメントの防止	- コンプライアンスとは（部活動指導におけるステークホルダーの期待 など） - 事例と解説（不適切行為の事例 など）
5. 子どものメンタルヘルス不調と対応	- 思春期のメンタルヘルス（思春期の特徴） - こころの不調への気づきと対応（声かけのポイント など）
6. 個人情報の取り扱い	- 個人情報の基本（真に守ってほしい情報の理解 など） - ソーシャルメディアの利用と情報漏えい（利用上の留意点 など）



確認テストの実施



各項目のe-Learning学習後にある確認テストにおいて、満点（100点）を取得することで「合格」としている。

受講者の声

Q.地域クラブ活動に関する研修内容（e-Learning）について、特に役立った内容

①コンプライアンスの重要性和ハラスメントの防止②子どものメンタルヘルス不調と対応③個人情報の取り扱いについて

→時代の移り変わりに応じた事案や思春期の子どもたちへのケアなど、学び直す良い機会であった

今後の課題と対応方針

今後、地域クラブの拡充を見据えて、指導者募集に際して「量の確保」の観点からは指導者に求める保有資格や研修受講の整理を行い、人材バンクの設置にかかる指導者の基準や要件設定を進めていく。

「質の保障」の観点からは、e-Learning研修と合わせて、本市が今後検討・設定する指導者要件を満たすための研修の在り方や受講支援等の施策も検討を行なっていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本市では地域連携の取り組みから教員の負担軽減に向けた外部指導者（部活動指導員）の配置を進めてきたところである。今後、学校単位でのスポーツ活動実施が困難になる予測を踏まえ、地域展開の環境整備に向けて、令和6年度はモデル地区（兼城）を置き、兼城中学校の野球部を対象に地域クラブ活動の実証を行った。外部指導者を配置していたことから、地域クラブ活動の指導者としての確保は比較的スムーズに進んだが、学校部活動と地域クラブ活動の運営、特に活動スケジュールの周知や出欠確認、活動報告等、対応が指導者主導で行われることなど運営管理の面では指導者や保護者の立場からは新しい取り組みとなった。

総じて、活動の流れ等には不具合はなく、子どもたちが地域クラブ活動として休日にスポーツ活動が行える環境が整えられたことは良かった点と言える。今回は団体種目での実施であったが、個人種目の活動もあるため、生徒の人数に応じた適切な環境整備を目指していく必要がある。

●成果の評価

活動面ではスムーズな運営ができたところだが、学校立地の性質上、活動中における保険・補償の課題があがった。事案は学校部活動であったものの、ボールが隣接する家の窓ガラスに当たることなど地域クラブ活動中にも起こりうる内容である。屋外ならではの事故や破損に十分に対応できる保障制度の担保が、今後の検討事項の一つとしてある。備品の破損も起こりうる事象であり、学校備品と共用する場合には、管理や破損があった場合の責任所在の棲み分けや判断も学校と十分なすり合わせが必要になってくる。地域クラブ活動を通して、改めて浮き出た課題が抽出できたことは成果の一つとして捉え、必要とされる整備や制度を今後、検討及び整えていく必要がある。

●今後に向けて

地域クラブ活動の運営の流れの大枠が掴めたため、今後は細かな仕組みづくりや関係する制度の運用等の見直しなどを図っていきたい。また、地域展開での活動場所として学校体育施設を有効的に活用していくため、安全面の強化や使用方法などを学校とも協議を重ね、地域利用のしやすい運用を目指す。

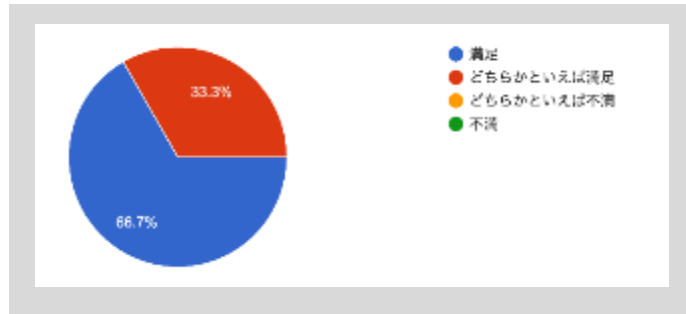
指導者の確保に向けては、本市が今後示す要件を満たすための研修やその支援制度を整え、指導者不足の課題解消につなげていきたい。

2.実証内容と成果

アンケート結果・参加者の声

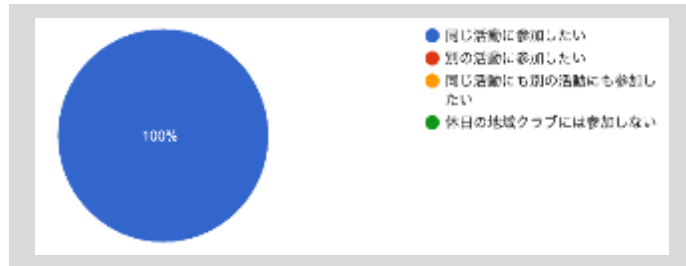
●アンケート結果

Q. 地域クラブ活動の満足度を教えてください



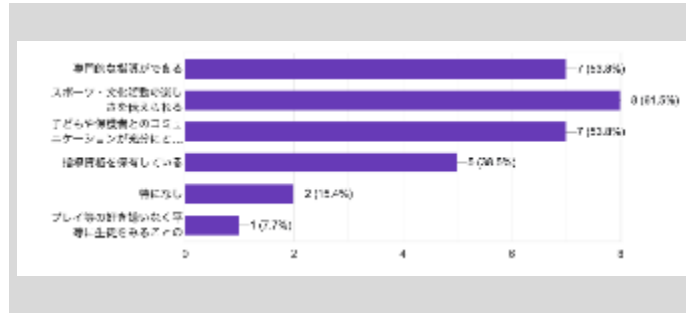
満足 | 66.7%
どちらかといえば満足 | 33.3%

Q. 次年度も休日の地域クラブを継続した場合、参加したいと思うか



同じ活動に参加したい
▼
100%

Q. 指導者に求めるものを教えてください



【上位3】

- スポーツ・文化活動の楽しさを伝えられる
- 専門的な指導ができる
- 子どもや保護者とのコミュニケーションが充分にとれる

●参加者の声

参加生徒

- 希望する活動ができ、挨拶などの礼儀作法が身につけてよかった。
- 勝敗や入賞にこだわらない気軽に楽しめる活動ができた。

指導者

地域のために指導をしたいと思ったため参画した。参加者が活動に積極的であったことや参加者の技術面の成長が見られたり、今後の地域クラブ活動のイメージが湧いた。

保護者

- 学校や保育園などの連絡ツールが複数あるため今回の連絡ツールが新しく加わったことで、手間に感じることもあった。使い勝手の良いもので統一してほしい。
- 中体連の兼ね合いで大会に出場する事が難しくなってくると思う。大会出場もできるように運営や課題をクリアにしていきたい。

顧問教員

休みが取れて、家族との時間を増やすことができたため、負担軽減につながったと感じている。

2.実証内容と成果

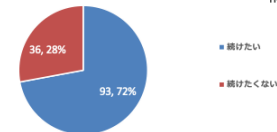
アンケート結果・広報資料

12 生徒のスポーツ・文化活動に関する基礎調査結果

【学校部活動のみに所属している】生徒の回答

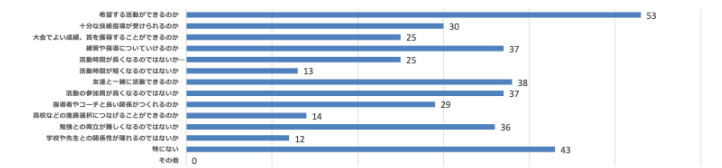
17. 現在行っている文化・スポーツ活動（学校部活動）は卒業後も続けたいと思いますか

n = 127



18. 休日の学校部活動を段階的に地域クラブに移行することに対して、心配されることとして、あなたの考えに近いものを教えてください（複数回答可）

n = 127



※本文中の割合表記は、掲載限り短縮のため、合計が100%にならない場合があります。 ※複数回答時の掲載等において、特定の表記がない場合は、割合の掲載は「回答数」とする。

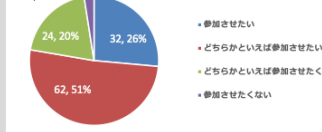
© Sports Data Bank Group

46 保護者アンケート スポーツ・文化活動に関する基礎調査結果

【学校部活動のみに所属している】保護者の回答

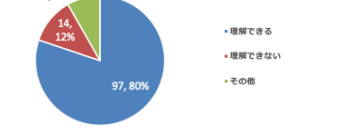
15. お子様が進う中学校区を超えた地域クラブを実施する場合、あなたの考えに近いものを教えてください

n = 121



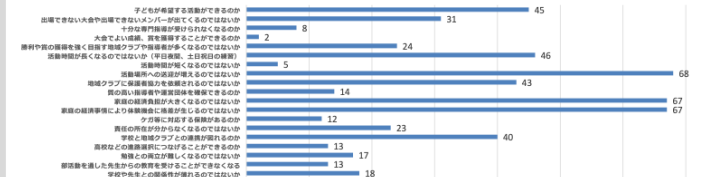
16. 休日の学校部活動を地域クラブに移行する際の費用負担について、あなたの考えに近いものを教えてください

n = 121



17. 休日の学校部活動を段階的に地域クラブに移行することに対して、心配されることとして、あなたの考えに近いものを教えてください（複数回答可）

n = 121



※本文中の割合表記は、掲載限り短縮のため、合計が100%にならない場合があります。 ※複数回答時の掲載等において、特定の表記がない場合は、割合の掲載は「回答数」とする。

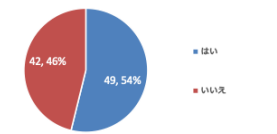
© Sports Data Bank Group

72 教職員アンケート 中学校部活動の基礎調査結果

現在の学校部活動について

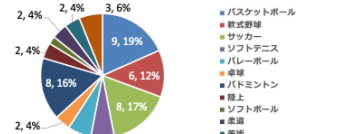
4. 学校部活動の顧問をしていますか

n = 91



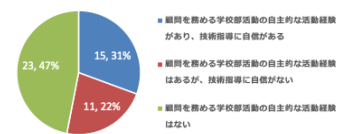
5. 担当する学校部活動を教えてください

n = 91



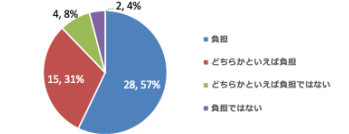
6. 顧問を務める学校部活動の経験や専門性はありますか

n = 49



7. 学校部活動は負担に感じていますか

n = 49



※本文中の割合表記は、掲載限り短縮のため、合計が100%にならない場合があります。 ※複数回答時の掲載等において、特定の表記がない場合は、割合の掲載は「回答数」とする。

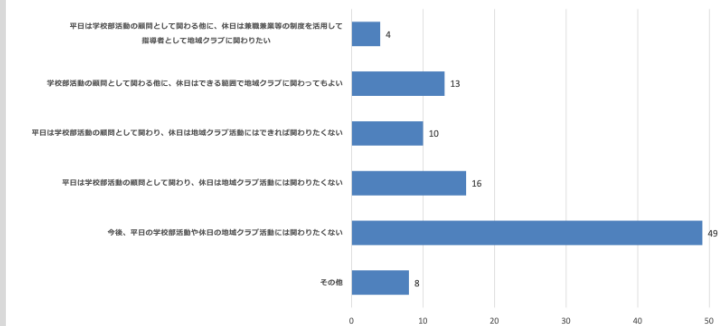
© Sports Data Bank Group

77 教職員アンケート 中学校部活動の基礎調査結果

休日の学校部活動の地域クラブ移行について

15. これからの学校部活動や休日の地域クラブへの関わり方として、あなたの考えに近いものを教えてください（複数回答可）

n = 91



※本文中の割合表記は、掲載限り短縮のため、合計が100%にならない場合があります。 ※複数回答時の掲載等において、特定の表記がない場合は、割合の掲載は「回答数」とする。

© Sports Data Bank Group

【アンケート結果】実態調査アンケート（生徒・保護者・教員）

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【地域クラブ（野球）活動の様子】



【地域クラブ（野球）活動の様子】



【協議会の様子】



【トップアスリートとの連携した活動（野球クラブ他）】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

市長部局、市教育委員会、総括コーディネーター、学校、市体育協会、スポーツ少年団、総合型スポーツクラブ、地域指導者（近隣地域含む）
経過

●経過

本市では地域連携の取り組みから教員の負担軽減に向けた外部指導者（部活動指導員）の配置を進めてきたところである。今後、学校単位でのスポーツ活動実施が困難になる予測を踏まえ、地域展開の環境整備に向けて、令和6年度はモデル地区（兼城）を置き、地域クラブ活動の実証を行なった。運営管理の手法や仕組みの構築を実施するとともに、次年度以降の地域クラブ拡充に向けて学校・顧問教員へのヒアリングも行い、種目とその数を整理したところである。

●実施にあたって生じた課題

事案は学校部活動であったものの、学校立地の性質上、ボールが隣接する家の窓ガラスに当たることなど地域クラブ活動中にも起こりうる内容があり、活動中における保険・補償の課題があがった。屋外ならではの事故や破損に十分に対応できる保障制度の担保が、今後の検討事項の一つとしてある。備品の破損も起こりうる事象であり、学校備品と共用する場合には、管理や破損があった場合の責任所在の棲み分けや判断も学校と十分なすり合わせが必要になってくる。

●今後の展開

課題としてあがった活動中における保険・補償の範囲を再度見直し・確認を行い、地域住民も含めて安心な地域クラブ活動が行える環境整備を進めていく。今回、学校や顧問教員へのヒアリングを行い、各学校部活動の実情を整理したため、これらを基に必要な指導者数や参加生徒の人数を勘案したクラブ数の精査を進めていく。同時に、地域団体への周知説明及び協力要請を実施し、指導者確保と地域クラブ活動の在り方を市が一体となって推し進めていく。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ[°]

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
方針・制度設計			
協議会の設置・運営			
推進計画の策定検討			
教員の兼職・兼業の規定及び運用の見直し検討			
実施主体・地域クラブ運営			
市におけるコーディネーターの配置			
実施主体（地域クラブ）認証・基準づくり			
地域団体等との連携・協議			
実施主体の認定・運営			
指導者・研修制度			
指導者基準・条件の整理			
研修・認証制度の整理			
人材バンクの設置・募集・運営			
財源の確保・参加費の設定			
経済困窮家庭への支援制度の検討			
企業版ふるさと納税含む財源確保の仕組みづくり			
参加費の設定・周知・受け入れ			
学校体育施設の有効活用			
学校施設利用方法（指定管理制度・予約システム含む）の見直し			
学校体育施設の安心安全な仕組みづくり			